

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	490
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		校庭芝生化(杉並第三小学校、三谷小学校)	2	校	5,670
		その他(芝生用備品の物置、肥料の購入ほか)			260
平成29年度の事業実施状況	(2) 事業実績	校庭の一部芝生化を杉並第三小学校及び三谷小学校の2校で実施しました。また、一部の学校では学校の施設・設備、自然環境を教材とした学習活動を実施しました。			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	平成13年度の校庭緑化事業(芝生化・ピオトープ整備)着手以降、平成19、20年度の二次にわたる「エコスクール化検討懇談会」報告を踏まえたエコスクール化に取り組んできました。平成24年度には、小・中学校の普通教室にエアコンが設置されたこと等を踏まえた、エコスクール事業の見直しを行い、エコスクール事業検討委員会報告を取りまとめ、以降、同報告に基づく事業を進めています。			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	校庭芝生化については、保護者等から養生期間に校庭が使えないこと等に対する意見・要望などを受けています。			
	今後(3~5年)の予測と方向性	校舎改築にあたっては、エコスクール事業検討委員会報告に基づき、庇・ベランダなど建物自体の工夫とみどりの創出によりエコスクール事業を進めます。また、既存校については、みどりの創出を進めます。			
評価と課題		「エコスクール事業検討委員会報告」に基づき本事業を実施し、改築校については、みどりの創出と建物自体の工夫を行い、着実に環境改善や省エネ施設にすることが進められました。既存校については、校庭一部芝生化により環境改善と教育効果の向上が図られました。引き続き、改築校は各学校の実情に合わせエコスクール事業を実施をします。既存校の整備費については、実施にあたっては、学校関係者の理解と協力が不可欠であり、十分に調整を行って実施します。新たな課題として、防災機能強化や環境学習の点から、太陽光発電と蓄電池の設置が求められ、別途事業により実施しました。未設置校については、改築時に拡充を図ります。			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	対象の見直し		
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	今後のエコスクール事業は、改築校については、引き続き「みどりの創出」と「建物自体の工夫」を組み合わせ実施をします。実施にあたっては、各学校の規模・形状など実情に即したエコスクール化を図り、教育施設の整備充実を図っていきます。既存校については、みどりの創出を推進し、校庭緑化については、全小中学校の芝生化(一部分含む)を目指し整備をします。屋上・壁面緑化、ピオトープについても環境学習の面で効果があり、学校の施設形態を踏まえて整備を進めていきます。また、太陽光発電・蓄電池については、改築時に設置し、エコスクール化とともに防災機能強化に取り組めます。			

平成30年度杉並区事務事業評価表（1）

（00473）

事務事業名称		情報教育の推進				款	07	項	01	目	03	事業	003	整理番号	500	
現担当課名		庶務課		係名		学校ICT推進担当係				連絡先電話番号		1608	昨年度整理番号		492	
上位施策No・施策名											27 学校教育環境の整備・充実		予算事業区分		既定事業	
事務事業の概要	事業開始		平成2年度		実行計画事業		目標05		施策27		計画事業04		主要事業（区政経営報告書掲載事業）			
	平成29年度担当課名		庶務課										事業評価区分 一般			
	対象		区立小・中・養護学校の児童・生徒及び教職員				根拠法令等		(1)		高度情報通信ネットワーク社会形成基本法、新たな情報通信技術戦略（平成22年）					
									(2)		教育の情報化ビジョン（平成22年文部科学省）					
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）		校務のICT活用促進とともに、校内のICT環境整備を進め、日常の授業改善、児童・生徒ひとり一人の課題の解決に向けた個別対応、教師の校務負担の軽減を図る。				活動指標		指標名（1）		教職員用パソコンの配備台数					
								指標説明		教育用パソコン1台当たりの児童・生徒数						
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）		教職員用の校務パソコンを配備し、校務システムの維持管理を行う。 教育用パソコン（パソコン教室、教室用タブレットパソコン、学校図書館用パソコン、児童・生徒用情報端末）を配備し、教育用システムの維持管理を行う。				成果指標		指標名（1）		教職員用パソコンの配備台数						
								指標説明		校務システム用クライアントパソコン（校別パソコン）の配備台数						
								指標名（2）		児童・生徒用端末1台当たりの児童・生徒数						
								指標説明		児童・生徒の利用を専用とした情報端末1台当たりの児童・生徒数						
区分		単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度							
			実績	計画	実績	計画（目標値）	実績	計画	対計画比（%）							
指標	活動指標（1）	1 台	2,146	2,146	2,146	2,146	2,146	2,164	100.0							
	活動指標（2）	2 人	3.3	3.3	4.0	3.3	3.3	3.1	100.0							
	成果指標（1）	3 台	2,146	2,146	2,146	2,146	2,146	2,164	100.0							
	成果指標（2）	4 人	6.3	6.0	5.9	4.6	4.4	4.0	95.7							
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	715,156	785,119	768,888	1,145,506	1,129,680	1,142,022	平成29年度 予算執行率（%）	98.6						
	（内）投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 東京都公立学校施設校内LAN工事整備工事支援事業補助金は工事实績により計画を上回りました。							
	（内）委託費	7 千円	108,918	208,048	203,989	381,966	375,317	150,114								
	職員数	常勤職員数	8 人	2.50	2.00	3.00	2.00	2.50								3.00
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00								0.00
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00								0.00
	人件費	常勤職員分	11 千円	21,868	17,494	25,686	17,124	21,478								25,773
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0								0
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0								0
	総事業費	14 千円	737,024	802,613	794,574	1,162,630	1,151,158	1,167,795								
	単位当たりコスト	15 円	343,441	374,004	370,258	541,766	536,420	539,646								
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0								0
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0								0
		都からの補助金等	18 千円	0	1,892	15,225	63,268	66,764								0
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0								
特定財源計		20 千円	0	1,892	15,225	63,268	66,764	0								
差引：一般財源		21 千円	737,024	800,721	779,349	1,099,362	1,084,394	1,167,795								
受益者負担比率	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0									

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

		整理番号		500	
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		校務システム用パソコン、サーバ等機器賃借、システム運用保守			
		電子黒板機能付プロジェクター、教室パソコン、タブレット端末の賃貸借			470,886
		コンピュータ教室機器の賃貸借、ソフトウェアの購入			209,153
		区立小・中学校、特別支援学校ネットワーク設備整備委託	44	校	84,442
		その他(図書館システム使用料、緊急メール配信システム運用 ほか)			25,576
平成29年度の事業実施状況	(2) 事業実績	小学校22校、中学校21校、特別支援学校1校の普通教室と屋内体育館、一部の特別教室へ無線アクセスポイントを設置し、校内無線LAN環境の整備とPC教室のタブレットPC化を進めました。また、小学校4校、中学校5校、特別支援学校1校に児童・生徒用タブレット端末システムを新たに配備しました。			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	H2: 中学校11校コンピュータ教室設置 / H13: 全校でネット接続環境整備 / H17: 校務システムと図書館システムのモデル校導入 / H18: 中学校教室ネット接続回線架設 / H19: 小学校教室ネット接続回線架設・全校図書館システム導入・全校教室パソコン配備・全校教職員校務パソコン配備 / H20: 基幹アプリケーション「スクールオフィス」による校務システムを稼動 / H24: 校務システム更新及び新学習指導要領に基づくシステム改修の実施 / H26: 電子黒板機能付プロジェクターの整備 / H27: 課題研究校へタブレットPC配備 / H28: 小学校12校のLANケーブル更新 / H29: 小学校22校、中学校21校、特別支援学校1校のLANケーブル更新と小学校4校、中学校5校、特別支援学校1校へタブレット端末配備			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	小学校PTA協議会からICT活用を促進するため、ICT支援員の配置日数を増やすこと、教員のICTを活用した授業力向上、特別支援学級へのタブレット端末の配備、中学校PTA協議会から全校へのタブレット端末の早期配備、特別支援学級へのタブレット端末の配備に関する予算要望が提出されています。また、平成30年1月27日に実施した杉並教育ICTフォーラム・全学校では、児童・生徒用タブレット端末を早期に全学校へ配備して欲しいという意見が多く寄せられました。			
	今後(3~5年)の予測と方向性	全ての区立学校の普通教室、特別教室(一部)、屋内体育館への無線LANの設置が完了しました。この環境を有効に活用するため、1人1台の児童・生徒用タブレット端末が利用できる配備を可能な限り計画的に進め、分かりやすい授業にするための教師によるICT活用から、調べたことや考えたことを子どもたちが互いに共有するための子どもによるICT活用へ、子どもたちが学びやすい環境を整備していきます。			
評価と課題		区立学校の教員のほぼ8割が、日々の授業でICT機器(電子黒板、書画カメラ、タブレット端末等)を活用した授業を行っています。平成30年1月に実施した杉並教育ICTフォーラム・全学校ICT授業公開への参加者は、延べ約2万人となりました。区立学校でのICTの活用が進むとともに、保護者・地域住民等のICT活用への理解が深まっています。今後は、授業展開に応じて、必要なときに児童・生徒が1人1台で使用できるよう、学習者用タブレットPCの整備を進めていく必要があります。			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	校務パソコンは、基幹アプリケーション「スクールオフィス」に代わる新たなシステムを決定し、平成32年4月からの運用を開始することで、より一層の教員の校務の負担軽減に努めます。児童・生徒用タブレット端末は、小学校2校(杉並第一小学校、馬橋小学校)と中学校1校(杉森中学校)の小中一貫教育連携グループや平成32年4月開校予定の高円寺地域小中一貫校等へ追加配備します。また、無線アクセスポイントを設置した教室での授業は、パソコン教室へ配備したタブレット端末を利用できるようにし、全校へ配置を目指すタブレット端末の台数にも加え、早期の配備を計画的に進めます。			

平成30年度杉並区事務事業評価表(1)

(00487)

事務事業名称		学校図書館の充実				款	07	項	01	目	03	事業	018	整理番号	512		
現担当課名		教育人事企画課		係名		教育人事係		連絡先電話番号		1654		昨年度整理番号		503			
上位施策No・施策名										27 学校教育環境の整備・充実		予算事業区分		既定事業			
事業開始		平成21年度		実行計画事業		目標		05		施策		27		計画事業		03	
平成29年度担当課名		教育人事企画課										事業評価区分		一般			
対象		杉並区立小・中学校の児童・生徒				根拠法令等		(1)		杉並区非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例							
								(2)		学校図書館法							
事務事業の概要	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)				活動指標		学校司書を配置し、子どもたちが本と触れ合う機会と仕組みを整備し、学校図書館を「読書センター」「学習センター」「情報センター」として機能させ、学校図書館を活用した教育活動を推進する。										
					指標名(1)		学校司書配置校数										
					指標説明												
					指標名(2)												
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)				指標説明													
				成果指標		学校図書館の年間平均貸出冊数(児童・生徒一人当たり)(小学校)											
				指標名(1)		学校図書館の年間貸出冊数÷児童・生徒数											
				指標説明													
				指標名(2)		学校図書館の年間平均貸出冊数(児童・生徒一人当たり)(中学校)											
				指標説明		学校図書館の年間貸出冊数÷児童・生徒数											
区分		単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度								
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)								
指標	活動指標(1)	1 校	64	64	64	64	64	64	100.0								
	活動指標(2)	2															
	成果指標(1)	3 冊	40.5	39.0	42.7	40.5	45.7	44.0	112.8								
	成果指標(2)	4 冊	10.4	12.0	9.8	14.0	10.7	14.0	76.4								
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	142,521	161,787	156,162	167,410	161,520	4,150	平成29年度予算執行率(%)	96.5							
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項								
	(内)委託費	7 千円	0	0	0	0	0	0									
	職員数	常勤職員数	8 人	1.50	2.30	2.30	2.30	2.40	2.40								
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00								
		非常勤職員数	10 人	0.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00								
	人件費	常勤職員分	11 千円	13,121	20,118	19,693	19,693	20,618	20,618								
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0								
		非常勤職員分	13 千円	0	2,935	2,971	2,971	2,944	2,944								
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	155,642	184,840	178,826	190,074	185,082	27,712									
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15 円	2,431,906	2,888,125	2,794,156	2,969,906	2,891,906	433,000									
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0								
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0								
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0								
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0									
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	0	0	0	0	0	0									
差引:一般財源(14-20)		21 千円	155,642	184,840	178,826	190,074	185,082	27,712									
受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0										

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	512
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		学校司書に対する報酬・旅費の支出	64	人	153,488
		学校図書館活用実践校事業	10	校	4,974
		学校図書館支援パート報酬・旅費の支出	3	人	2,953
		学校司書研修講師謝礼	5	人	85
		その他（学校図書館研究用図書購入）			20
(2) 事業実績	<p>引き続き区立小中学校全校に学校司書を配置し、様々な手法での読書推進や授業での学校図書館活用について司書教諭と共に取り組みました。学校図書館活用実践校（小6校・中4校）では、図書や図書館を活用した調べ学習が充実し、様々な分野の図書購入により学習意欲の向上につながりました。学校図書館サポートデスクは運営の相談に応じるとともに、学校司書や司書教諭への研修を実施し、スキルアップや優れた実践について情報共有を図りました。平成29年度の学校図書館の1人当たり年間貸し出し冊数は、小学校が45.7冊、中学校では10.7冊と前年度を上回りました。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>学校図書館の充実のため、平成21年度から段階的に学校司書を配置し、平成24年度からは小中学校全校に配置しています。学校図書館サポートデスクでは各学校図書館の支援を行い、学校図書館の整備・活用を推進してきました。学校図書館の蔵書数について国で定めた基準値は、まだ全校で達成するには至らない状況ですが、平成29年度末には小中学校とも7割の学校が達成しました。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>児童・生徒や保護者、また学校からも、学校司書の継続配置を求められており、学校図書館の充実についても保護者や区民から期待と要望が寄せられています。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>「杉並区子ども読書活動推進計画」に基づき、教員と学校司書とが連携・協働し、学校図書館を活用した教育活動が更に充実するよう取組を推進します。また学校図書館の3つの機能（児童・生徒の読書習慣を培う「読書センター」、児童・生徒の学習活動を支える「学習センター」、「情報センター」）の充実・強化を図るため、今後も引き続き小中学校全校に学校司書を配置し、研修を拡充させていただきます。また、学習指導要領改訂による新たな指導内容や方法に適した学校図書館の蔵書にも十分配慮し、学校図書館サポートデスクによる支援を継続しながら、学校図書館の活用を推進していきます。</p>			
評価と課題	<p>平成21年度から段階的に学校司書を配置し、平成24年度からは小中学校全校に配置してきた結果、学校図書館の機能の充実が図られ、活発な読書活動や学校図書館を利用した授業実践も充実してきています。</p> <p>成果指標として掲げる児童・生徒への年間貸出冊数は平成29年度は増加しましたが、中学校生徒への働きかけはまだ不十分であり、研修等を通じて学校司書一人ひとりの資質向上を図ったり、優れた読書活動の実践事例を全校へ広めたりすることで、今後の目標値の達成を目指します。また、全校で学校司書と司書教諭等との連携・協働が図られ、学校全体で学校図書館の活用が進むよう、学校図書館の運営体制の確立を促します。</p>				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>学校司書と教員、ボランティアとの連携・協働による学校図書館を活用した教育活動の推進、及び学校図書館の機能充実を図るため、これまでの成果を踏まえ引き続き学校司書を小中学校全校に配置し、学校図書館を活性化していきます。「杉並区子ども読書活動推進計画」に基づき、学校図書館運営体制の確立や図書・施設・設備の整備・充実を図り、教職員研修を更に充実させていきます。平成30年度は学校図書館活用実践校として7校を指定し、学校図書館の整備と充実を進めていきます。</p>			

平成30年度杉並区事務事業評価表(1)

(00493)

事務事業名称		小学校の維持管理			款	07	項	02	目	01	事業	002	整理番号	518	
現担当課名		学校整備課			係名			教育施設整備係			連絡先電話番号	1682	昨年度整理番号	509	
上位施策No・施策名										27 学校教育環境の整備・充実		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始														
	平成29年度担当課名	学校整備課										事業評価区分	施設維持管理		
	対象	区立小学校の児童及び施設設備			根拠法令等	(1)		学校教育法第5条							
						(2)		地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	機械警備等の保守管理を行い、学校施設の安全安心を確保する。			活動指標	指標名(1)		区立小学校数							
					指標名(2)		機械警備実施校数								
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	機械警備や昇降機等が導入されている小学校について、それらの設備の保守管理を実施する。			指標説明											
				成果指標	指標名(1)										
					指標名(2)										
					指標説明										
区分		単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1	校	41	41	41	41	41	100.0						
	活動指標(2)	2	校	35	37	37	37	37	100.0						
	成果指標(1)	3													
	成果指標(2)	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	111,321	100,119	94,828	96,719	94,607	105,694	平成29年度予算執行率(%)	97.8				
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費	7	千円	81,708	70,109	65,070	65,673	63,699	74,639						
	職員数	常勤職員数	8	人	55.38	49.35	49.38	46.35	46.38	41.40					
		再任用職員数	9	人	13.11	11.10	11.10	9.10	9.10	14.00					
		非常勤職員数	10	人	11.16	11.16	10.54	5.58	5.40	4.26					
	人件費	常勤職員分	11	千円	484,409	431,664	422,792	396,849	398,451	355,667					
		再任用職員分	12	千円	54,262	45,943	48,729	39,949	40,295	61,992					
		非常勤職員分	13	千円	32,755	32,755	31,314	16,578	15,898	12,541					
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	682,747	610,481	597,663	550,095	549,251	535,894						
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	16,652,366	14,889,780	14,577,146	13,416,951	13,396,366	13,070,585						
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0						
差引:一般財源(14-20)		21	千円	682,747	610,481	597,663	550,095	549,251	535,894						
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 518

		内 容	規模	単位	事業費（千円）
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	機械警備業務委託	37	校	23,045
		機械設備保守点検業務委託（全館空調校）	6	校	8,308
		昇降機保守点検業務委託	10	校	10,137
		施設保全法定点検業務委託	41	校	8,580
		その他（設備の保守委託 ほか）			44,537
	(2) 事業実績	引き続き、機械警備や機器の保守点検を実施し、学校の安全安心の確保に努めました。			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）				
	今後の予測				
	評価と課題	学校警備職員の退職による機械警備化が進み、専門事業者への委託が推進されています。引き続き専門事業者による適切な保守管理を実施し、学校施設の安全安心を確保することが重要であると考えます。			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性			
		II 事業の改善の方向性			
	今後の進め方				

平成30年度杉並区事務事業評価表（1）

（00753）

事務事業名称 小中一貫教育校開校準備（高円寺地区）				款 07	項 02	目 01	事業 008	整理番号 521		
現担当課名 学校整備課		係名 教育施設計画係			連絡先電話番号 1687		昨年度整理番号			
上位施策No・施策名 27 学校教育環境の整備・充実						予算事業区分 臨時事業				
事務事業の概要	事業開始	平成29年度	実行計画事業 目標 05 施策 27 計画事業 01			主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
	平成29年度担当課名	学校整備課				事業評価区分 一般				
	対象	杉並第四小学校、杉並第八小学校及び高円寺中学校の児童・生徒、教職員及び学校利用者			根拠法令等 (1) (2)	高円寺地域における新しい学校づくり懇談会運営要綱				
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	杉並第四小学校、杉並第八小学校及び高円寺中学校の3校を統合し設置する施設一体型の小中一貫教育校の開校に向け、学園章等の準備を行う。			活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明	学園章検討部会開催回数 3校のメモリアル検討部会開催回数				
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	平成29年度 学園章案及び学園歌案の制作 平成30年度 学園章及び学園歌の選定並びにメモリアル制作 平成31年度 メモリアル制作及び記念式典開催			成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明	学園章案制作状況 学園歌案制作状況				
区分		単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度	
			実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)	
指標	活動指標(1)	1 回				2	3	1	150.0	
	活動指標(2)	2 回				2	2	3	100.0	
	成果指標(1)	3 案				10	14	1	140.0	
	成果指標(2)	4 曲				1	1	1	100.0	
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円				1,028	1,001	860	平成29年度 予算執行率(%) 97.4	
	(内)投資的経費等	6 千円				0	0	0	特記事項 この事業は、予算科目（小学校費、中学校費）の関係で、整理番号537と分割して記載しています。 (No.521...小学校費、No.537...中学校費)	
	(内)委託費	7 千円				578	551	860		
	職員数	常勤職員数	8 人				0.00	0.25		0.25
		再任用職員数	9 人				0.00	0.00		0.00
		非常勤職員数	10 人				0.00	0.00		0.00
	人件費	常勤職員分	11 千円				0	2,148		2,148
		再任用職員分	12 千円				0	0		0
		非常勤職員分	13 千円				0	0		0
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円					1,028	3,149		3,008
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15 円					514,000	1,049,667		3,008,000
	財源	受益者負担分	16 千円				0	0		0
		国からの補助金等	17 千円				0	0		0
		都からの補助金等	18 千円				0	0		0
その他の補助金等		19 千円				0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円					0	0	0	
差引：一般財源 (14-20)		21 千円					1,028	3,149	3,008	
受益者負担比率 (16÷14)		22 %					0.0	0.0	0.0	

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

		整理番号		521	
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		学園章案制作			
		学園歌案制作			450
		その他(メモリアル作品制作準備)			351
事業実績	(2) 事業実績	高円寺地域における新しい学校づくり懇談会及び検討部会並びに児童・生徒及び保護者等の意見を聴きながら、学園章案及び学園歌案を制作しました。			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>学園章及び学園歌については、平成29年6月26日に学園章検討部会を設置し、保護者、学校関係者や地域関係者の意見を聴きながら、案を作成しました。</p> <p>また、メモリアルについては、平成29年9月29日に3校のメモリアル検討部会を設置し、3校のメモリアル調査結果や過去の統合校の事例を踏まえ、検討を加えました。</p> <p>なお、工事妨害に伴い工期を平成31年2月から同年7月へ延長するとともに、新校の開校時期も平成31年4月から平成32年4月に変更しました。</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>学園章については、杉並第四小学校、杉並第八小学校及び高円寺中学校という3校の伝統や成り立ちを表したものにしてほしい等の意見があり、学園歌については、新校の教育方針に沿った言葉が歌詞に含まれているとよい等の意見がありました。</p> <p>メモリアルについては、現在高円寺中学校にある3校合同の卒業制作を新校のメモリアルスペースに展示することや高円寺中学校にある樹木を活用してメモリアル作品を制作する等の意見がありました。</p>			
	今後(3~5年)の予測と方向性	<p>学園章、学園歌及びメモリアルが3校の伝統を引き継ぐとともに、新校の象徴として児童・生徒、学校関係者や地域関係者に親しまれます。</p>			
	評価と課題	<p>3校の伝統を引き継ぐとともに新校の象徴として親しまれる学園章、学園歌については、懇談会委員及び、児童・生徒、学校関係者及び地域関係者等の意見を聴きながら、候補を決定しました。また、メモリアルについても引き続き検討を進めていきます。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	平成32年4月の開校に向け、平成29年度に引き続きメモリアル作品の制作等を進めます。			

平成30年度杉並区事務事業評価表（1）

（00500）

事務事業名称		小学校の施設整備			款	07	項	02	目	04	事業	001	整理番号	525	
現担当課名		営繕課			係名			営繕係			連絡先電話番号	1564	昨年度整理番号	515	
上位施策No・施策名										27 学校教育環境の整備・充実		予算事業区分			投資事業
事務事業の概要	事業開始														
	平成29年度担当課名		営繕課						事業評価区分			一般			
	対象		区立小学校の児童・教職員及び学校施設利用者			根拠法令等		(1)		学校教育法第5条、地方自治法第180条の2					
								(2)		杉並区工事施工規程、学校施設の計画保全に関する処理要領					
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）		小学校の諸施設・設備について、適切に維持保全するとともに、教育環境の充実を図っていく。			活動指標		指標名（1）		改修工事実施校数					
							指標説明								
					指標名（2）		指標説明								
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）		小学校の校舎屋上防水、校舎外壁、便所及び照明設備などの改修を計画的に実施する。			成果指標		指標名（1）		改修工事実施割合						
							指標説明		実施校数÷計画校数						
					指標名（2）		指標説明								
区分	単位	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度						
		実績	計画	実績	計画	計画 (目標値)	実績				計画	対計画比(%)			
指標	活動指標（1）	1	件（校）	18	18	15	17	17	16	100.0					
	活動指標（2）	2													
	成果指標（1）	3	%	106	100	83	100	100	100	100.0					
	成果指標（2）	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	477,818	384,134	369,098	605,733	604,530	500,769	平成29年度 予算執行率(%)	99.8				
	（内）投資的経費等	6	千円	477,818	384,134	369,098	605,733	604,530	500,769	特記事項 前年度事業費からの減少理由 大規模な給食室改修工事等が減少したため。					
	（内）委託費	7	千円	477,248	383,234	368,417	604,833	603,637	499,869						
	職員数	常勤職員数	8	人	20.00	20.00	20.38	20.91	19.92			20.78			
		再任用職員数	9	人	1.00	1.00	1.00	1.00	1.05			0.00			
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			0.00			
	人件費	常勤職員分	11	千円	174,940	174,940	174,494	179,031	171,133			178,521			
		再任用職員分	12	千円	4,139	4,139	4,390	4,390	4,649			0			
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0			0			
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円	656,897	563,213	547,982	789,154	780,312	679,290						
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15	円	9,948,833	9,948,833	11,925,600	10,789,471	10,340,118	11,157,563						
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0			0			
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0			38,760			
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	13,257			19,380			
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	13,257	58,140						
差引：一般財源 (14-20)		21	千円	656,897	563,213	547,982	789,154	767,055	621,150						
受益者負担比率 (16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

			整理番号	525	
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		済美小学校給食室改修その他工事			
		井荻小学校便所改修その他工事			111,240
		馬橋小学校雨水流出抑制対策工事			78,840
		松ノ木小学校校舎外壁補修工事			58,860
		その他（西田小学校受変電設備取替工事ほか）			218,430
(2) 事業実績	<p>学校における良好な教育環境の維持・向上を図るため、給食室改修工事、便所改修工事、雨水流出抑制対策工事、校舎外壁補修工事、受変電設備取替工事、照明設備改修工事など、学校諸施設の整備工事を行いました。</p> <p>今後も施設の劣化状況や耐用年数を考慮しながら、計画的かつ効果的・効率的な改修工事を実施します。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>学校建物の老朽化が進む中、計画的に改築を行っていく必要がありますが、期間と経費がかかることから、教育環境の維持保全を行う改修工事の重要性は大きくなっています。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>学校利用者からは、校舎の傷みや内装の汚れが目立つ等の指摘を受けています。また、使い勝手などの施設面においては、便所改修や校庭整地、バリアフリー化等が求められています。近隣住民からは、学校周囲の狭い道路の整備、校庭の土埃対策とともに、各工事における安全性や騒音・振動対策が求められています。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>今後、建物の築後50年を経過する校舎の増加が見込まれます。施設の機能や教育環境の維持・向上を図るためには、計画的かつ効果的・効率的な改修を行っていくとともに、中長期を見据えた学校教育施設の改修・改善に取り組む必要があります。</p>			
評価と課題	<p>施設機能の維持保全や教育システムの変化等に対応するため、中長期を見据えた学校教育施設の改修・改良に取り組み、良好な教育環境の維持・向上に努めました。今後においても、教育的なニーズの変化に対応した改修・改良工事に取り組んでいきます。</p>				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>施設・設備は経年劣化していくため、機能や教育環境の維持・向上を図るには、計画的に改修を行う必要があります。また、施設の劣化状況や耐用年数を考慮しながら効率的な改修を行う必要があります。今後も、新しい学校づくりの検討状況及び杉並区立小中学校老朽化改築計画との調整を図りながら、改修計画を構築する必要があります。</p>			

平成30年度杉並区事務事業評価表(1)

(00503)

事務事業名称		小学校空調設備整備			款	07	項	02	目	04	事業	007	整理番号	527	
現担当課名		学校整備課		係名	教育施設整備係			連絡先電話番号	1682		昨年度整理番号	517			
上位施策No・施策名										27 学校教育環境の整備・充実		予算事業区分	投資事業		
事務事業の概要	事業開始	平成22年度													
	平成29年度担当課名	学校整備課									事業評価区分	一般			
	対象	区立小学校の児童及び施設設備			根拠法令等	(1)	学校教育法第5条								
						(2)	地方自治法第180条の2								
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	教育環境改善のために教室に空調設備を整備する。			活動指標	指標名(1)	空調設備設置工事校数								
					指標説明	空調設備整備設計校数									
					指標名(2)										
					指標説明										
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	区立小学校の教室に空調設備を整備する。			成果指標	指標名(1)	空調設備設置率									
					指標説明	空調設備設置小学校数÷小学校数(H25・26・27理科室、H28・29・30図工・家庭科室)									
					指標名(2)										
					指標説明										
区分		単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1 校	0	14	14	2	2	13	100.0						
	活動指標(2)	2 校	14	15	15	13	13	0	100.0						
	成果指標(1)	3 %	52	75	75	79	79	100	100.0						
	成果指標(2)	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	3,033	85,144	80,981	13,508	11,990	69,000	平成29年度 予算執行率(%)	88.8					
	(内)投資的経費等	6 千円	3,033	85,144	80,981	13,508	11,990	69,000	特記事項						
	(内)委託費	7 千円	3,033	85,144	80,981	13,508	11,990	69,000							
	職員数	常勤職員数	8 人	0.06	0.08	0.13	0.10	0.11	0.20						
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
	人件費	常勤職員分	11 千円	525	700	1,113	856	945	1,718						
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0	0						
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	3,558	85,844	82,094	14,364	12,935	70,718							
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15 円	0	50,000	79,500	428,000	472,500	132,154							
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	4,000	2,422	20,000						
		都からの補助金等	18 千円	0	0	17,633	2,000	2,394	10,000						
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	0	0	17,633	6,000	4,816	30,000							
差引:一般財源(14-20)		21 千円	3,558	85,844	64,461	8,364	8,119	40,718							
受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	527
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		小学校家庭科室及び図工室空調設備整備工事	2	校	11,990
(2) 事業実績	和田小学校及び済美小学校2校の家庭科室2室及び図工室2室に空調設備を設置しました。				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	教育環境を改善し、児童が学習効果を十分発揮できるように、平成22・23年度に普通教室に空調設備を設置しました。更に学習環境を改善し理科教育を充実させるため、平成26年度には理科室に空調設備を設置しました。平成28・29年度は約半数の学校の家庭科室と図工室に空調設備を設置しました。			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	保護者やPTA協議会などからは、学習環境改善のため、早急に空調設備整備を実施して欲しいとの要望が出されています。			
	今後(3~5年)の予測と方向性	家庭科室・図工室への設置が完了後は、他の特別教室や学習室・少人数教室などにも、教育環境改善のための空調設備整備が求められていくと予測されます。			
評価と課題	普通教室と一部の特別教室に空調設備を設置し、学習環境の改善が図られました。平成30年度は、空調設備未設置の家庭科室・図工室等への整備を進めていきます。今後は、それ以外の未設置の教室などへの設置が課題となります。また、将来的には、空調機の改修時期(入れ替え時期)が、同時期に発生することが想定され、その対策が求められます。				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	縮小		
		II 事業の改善の方向性	対象の見直し		
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	「杉並区教育ビジョン2012」推進計画及びPTA協議会の要望に基づき、教育環境の均等化を図るため、空調設備未設置の教室への空調設備を設置を検討します。			

平成30年度杉並区事務事業評価表（1）

（00666）

事務事業名称 小中一貫校の施設整備（高円寺地区）			款 07	項 02	目 04	事業 009	整理番号 528			
現担当課名 学校整備課		係名 教育施設計画係		連絡先電話番号 1687		昨年度整理番号 518				
上位施策No・施策名 27 学校教育環境の整備・充実						予算事業区分 投資事業				
事務事業の概要	事業開始	平成26年度	実行計画事業 目標 05 施策 27 計画事業 01			主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
	平成29年度担当課名	学校整備課				事業評価区分 一般				
	対象	杉並第四小学校、杉並第八小学校及び高円寺中学校の児童・生徒、教職員及び学校利用者		根拠法令等 (1) (2)	地方自治法第180条の2 学校施設環境改善交付金交付要綱第3					
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	「高円寺地域における新しい学校づくり計画」に基づき、杉並第四小学校、杉並第八小学校及び高円寺中学校の3校を統合し、現・高円寺中学校の校地を活用した施設一体型の小中一貫教育校を建設する。		活動指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2） 指標説明	建設工事進捗率（平成29～31年度） 設計進捗率（平成27～28年度） （基本設計30%、実施設計70%）					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	平成25年度～開校 新しい学校づくり懇談会開催 平成27年度 基本設計 平成27年度～28年度 実施設計 平成28年度末～31年度 新校舎建設工事 平成32年4月 新校開校 平成32年度 環境整備工事		成果指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2） 指標説明						
区分		単位	平成27年度 実績	平成28年度 計画 実績		平成29年度 計画 実績	平成30年度 計画	平成29年度 対計画比(%)		
指標	活動指標（1）	1 %	0	0	0	30	29	60	96.7	
	活動指標（2）	2 %	30	70	70	0	0	0	0.0	
	成果指標（1）	3								
	成果指標（2）	4								
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	40,086	356,231	349,758	457,401	434,056	1,213,319	平成29年度 予算執行率(%) 94.9	
	（内）投資的経費等	6 千円	40,086	356,231	349,758	457,401	434,056	1,213,319	特記事項 この事業は、予算科目（小学校費、中学校費）の関係で、整理番号542と分割して記載しています。 （No.528...小学校費、No.542...中学校費）	
	（内）委託費	7 千円	40,086	355,634	349,545	457,248	433,949	1,144,796		
	職員数	常勤職員数	8 人	1.50	2.00	2.48	2.50	1.59		1.75
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	人件費	常勤職員分	11 千円	13,121	17,494	21,234	21,405	13,660		15,034
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0		0
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0		0
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円	53,207	373,725	370,992	478,806	447,716	1,228,353		
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15 円	0	0	0	713,500	471,034	250,567		
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0		0
		国からの補助金等	17 千円	0	0	10,280	0	59,214		158,036
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0		0
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	0	0	10,280	0	59,214	158,036		
差引：一般財源 (14-20)		21 千円	53,207	373,725	360,712	478,806	388,502	1,070,317		
受益者負担比率 (16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

		整理番号		528	
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		建設工事			
		事前整備工事			2,881
		その他（事務費等）			107
(2) 事業実績	平成29年度は、建設工事を進めるとともに、事前整備工事等を行いました。				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成26年3月に高円寺地域における新しい学校づくり懇談会を設置し、保護者や学校関係者、地域関係者の意見を伺いながら教育方針や校名、通学路の安全対策など具体的な検討を進めてきました。また、開校に向けた取組や懇談会での意見等について教育委員会ホームページに掲載するとともに近隣住民や近隣の幼稚園、保育施設にニュース誌を配布して周知を図りました。</p> <p>平成28年に東京都中高層建築物紛争の予防と調整に関する条例に基づく説明会及び工事説明会を開催したところ、校舎の配置等について一部近隣住民から要望があり、設計変更を実施しました。また、抗議活動等に伴い工期を平成31年2月から同年7月へ延長するとともに、新校の開校時期も平成31年4月から平成32年4月に変更しました。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>施設一体型により小中一貫教育の効果を高め、児童・生徒が共に通う学校として配慮すべき点を明確にしなが、規模の適切さも含めて検討を進めることを求める意見や、地域の力を生かせる多世代が交わる学校、安全性の高い地域防災の拠点となる学校にしてほしいなどの要望がありました。また、周辺住民等から杉並第四小学校との小中学校分離型に計画を見直すべきとの要望がありました。また、現計画に至る経過、学校での取組などを説明してきました。</p> <p>開校時期の変更については、変更により生まれた時間を有効に活用し、児童・生徒の相互交流を行うなど開校に向けて万全を期すように等の意見がありました。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>平成32年4月の開校に向け、杉並第四小学校、杉並第八小学校及び高円寺中学校の児童・生徒の交流活動が盛んになるとともに、学校関係者や地域住民との緊密な連携及び交流が図られています。</p>			
評価と課題	<p>今後は、平成32年4月の開校に向け建設工事の進捗管理を行うとともに、体育やクラブ活動等に係る代替運動場の活用など、工事期間中の高円寺中学校の学校運営に支障が生じないよう努めて計画を進めていきます。</p> <p>また、高円寺地域における新しい学校づくり懇談会を通して、保護者や学校関係者、地域住民等から意見を聴き、（仮称）高円寺学園の学園章及び学園歌の候補を決定するとともに、杉並第四小学校、杉並第八小学校及び高円寺中学校のメモリアル等について引き続き、検討を進めていきます。</p>				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	区議会の議決を経た予算及び債務負担行為に基づき、適切に建設工事を実施していきます。			

平成30年度杉並区事務事業評価表(1)

(00696)

事務事業名称		杉並第一小学校の改築			款	07	項	02	目	04	事業	010	整理番号	529
現担当課名		学校整備課			係名			教育施設計画係			連絡先電話番号	1687	昨年度整理番号	519
上位施策No・施策名										27 学校教育環境の整備・充実			予算事業区分	投資事業
事務事業の概要	事業開始	平成27年度												
	平成29年度担当課名	学校整備課						事業評価区分			一般			
	対象	杉並第一小学校の児童、教職員及び学校利用者			根拠法令等	(1)	学校教育法第5条			(2)	地方自治法第180条の2			
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	「区立施設再編整備計画」に基づき、杉並第一小学校の老朽改築に合わせて、阿佐谷地域区民センターと産業商工会館の集会関連機能との複合化を図り、阿佐谷地域がより魅力のあるまちに発展していくための拠点施設を整備します。			活動指標	指標名(1)	設計進捗率			指標説明	(基本設計30%、実施設計70%)			
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	平成27年度 改築・複合化検討懇談会設置 平成28年度 基本構想・基本計画策定 平成29年度 改築・複合化検討懇談会運営 基本設計 整備方針見直し 事業廃止し、長寿命化に変更			指標名(2)	改築・複合化検討懇談会開催回数			指標説明					
総事業費・コスト把握	区分	単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度	特記事項 杉並第一小学校等複合施設を整備する計画は見直しとなり、学校の改築時期を延期することとなったため、本事業は廃止となります。				
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)					
	活動指標(1)	1	%	0	30	30	0	0	0		0.0			
	活動指標(2)	2	回	7	5	0	0	0	0		0.0			
	成果指標(1)	3												
	成果指標(2)	4												
	事業費	5	千円	7,576	170,622	153,713	26,400	26,400	0		平成29年度 予算執行率(%)	100.0		
	(内)投資的経費等	6	千円	7,576	170,622	153,713	26,400	26,400	0					
	(内)委託費	7	千円	6,930	64,185	47,932	0	0	0					
	職員数	常勤職員数	8	人	2.34	2.50	2.66	2.00	0.25		0.00			
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00			
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00			
	人件費	常勤職員分	11	千円	20,468	21,868	22,775	17,124	2,148		0			
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0		0			
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0		0			
	総事業費	14	千円	28,044	192,490	176,488	43,524	28,548	0					
	単位当たりコスト	15	円	0	728,933	759,167	0	0	0					
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0		0			
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0		0			
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0		0			
		その他の補助金等	19	千円	0	0	0	10,200	10,200		0			
		特定財源計	20	千円	0	0	0	10,200	10,200		0			
差引：一般財源		21	千円	28,044	192,490	176,488	33,324	18,348	0					
受益者負担比率	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	529	
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単 位	事業費（千円）
		代替運動場用地賃借		3	月	26,400
(2) 事業実績	<p>杉並第一小学校改築予定期間中の代替運動場用地を賃借しました。 なお、杉並第一小学校等複合施設を整備する計画は見直しとなり、学校の改築時期を延期することとなったため、本事業は廃止となり、土地賃貸借契約書は当初の賃貸借期間を見直すこととなりました（平成33年3月31日までを平成29年6月30日までとしました）。</p>					
	その他（ ）					
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>これまで、計画を着実に進めていましたが、昨年8月に、杉並第一小学校近隣の総合病院の移転・建替え計画が明らかになったことを受け、区では、現在の病院用地への学校の移転・改築の可能性と阿佐谷地域区民センター及び産業商工会館の整備のあり方について平成28年度末までに検討することとしました。 検討の結果、現在の計画より約1,000㎡広い敷地を確保でき、想定していた屋上校庭と同規模の地上校庭の整備が可能になるなど、将来に向けた教育環境の向上が見込まれることに加え、地域の防災性の向上や土地利用の見直しによる民間と連携した賑わいの創出の可能性などを総合的に考慮し、これまでの計画を見直すこととし、学校の移転・改築時期は平成40年度（予定）に変更としました。</p>				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>保護者、学校関係者からは、計画の見直しにより、病院用地への移転・改築時期が平成40年度（予定）となることを受け、既存校舎の物理的な課題や設備の老朽化など、現在の教育上の課題解決を図るため、早期に改築が図れる現在の計画を進めるべきであるという意見・要望が寄せられています。 また、病院用地への移転により、学校周辺環境が変化することから、音や砂埃など、近隣対応が必要となるリスクも懸念され、これまでどおり、児童の活動が制約を受けるおそれがあるとの意見が一部の保護者などからありました。</p>				
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>平成28年8月に、杉並第一小学校近隣の総合病院の移転・建替え計画が明らかになったことを受け、これまでの計画を見直すこととし、学校の改築時期は延期となりました。これを受け、杉並第一小学校長寿命化対策事業（整理番号531）に引き継ぐこととなりました。</p>				
	評価と課題	<p>杉並第一小学校は、計画変更により、平成40年度（予定）に現在の病院用地に移転・改築するまでの間は既存校舎を使うことになるため、既存校舎の長寿命化対策に加え、時代の変化に相応しい教育環境を確保するための改修計画を策定し、平成29年度から平成32年度を目途に計画的な改修等を進めていきます。</p>				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	その他・対象外			
		II 事業の改善の方向性	実施主体の見直し・対象の見直し			
	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>杉並第一小学校等複合施設を整備する計画は見直しとなり、学校の改築時期を大幅に延期することとなったため、本事業は廃止いたします。</p>				

平成30年度杉並区事務事業評価表（1）

（00673）

事務事業名称 桃井第二小学校の改築			款 07	項 02	目 04	事業 011	整理番号 530			
現担当課名 学校整備課		係名 教育施設計画係			連絡先電話番号 1698	昨年度整理番号 520				
上位施策No・施策名 27 学校教育環境の整備・充実						予算事業区分 投資事業				
事務事業の概要	事業開始	平成26年度	実行計画事業 目標 05 施策 27 計画事業 01			主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
	平成29年度担当課名	学校整備課				事業評価区分 一般				
	対象	桃井第二小学校の児童、教職員及び学校関係者		根拠法令等 (1) (2)	学校教育法第5条 地方自治法第180条の2					
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	「総合計画・実行計画」に基づき、平成27年に築50年を迎えた桃井第二小学校の改築事業を図る。		活動指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2）	建設工事進捗率（平成29～30年度） 設計進捗率（平成27～28年度） （基本設計30%、実施設計70%）					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	平成26年度 改築検討懇談会設置 平成27年度 改築検討懇談会運営 平成28年度 基本設計 平成29年度～30年度 仮設校舎建設 平成31年度 新校舎建設工事 環境整備工事		成果指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2） 指標説明						
区分		単位	平成27年度 実績	平成28年度 計画 実績		平成29年度 計画（目標値） 実績		平成30年度 計画	平成29年度 対計画比（%）	
指標	活動指標（1）	1 %	0.0	0.0	0.0	20.0	21.0	79.0	105.0	
	活動指標（2）	2 %	30	70	70	0	0	0	0.0	
	成果指標（1）	3								
	成果指標（2）	4								
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	35,044	257,108	243,151	1,161,479	1,153,196	3,017,645	平成29年度 予算執行率（%） 99.3	
	（内）投資的経費等	6 千円	35,044	257,108	243,151	1,161,479	1,153,196	3,017,645	特記事項	
	（内）委託費	7 千円	34,597	242,235	229,782	985,491	983,300	2,720,081		
	職員数	常勤職員数	8 人	2.34	1.50	1.76	1.00	1.61	1.50	
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		非常勤職員数	10 人	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	
	人件費	常勤職員分	11 千円	20,468	13,121	15,069	8,562	13,832	12,887	
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0	
		非常勤職員分	13 千円	2,935	2,935	2,971	2,971	2,944	2,944	
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円	58,447	273,164	261,191	1,173,012	1,169,972	3,033,476		
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15 円	0	0	0	576,650	798,857	200,392		
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0	
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	123,031	0	
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0	
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	0	0	0	0	123,031	0		
差引：一般財源 (14-20)		21 千円	58,447	273,164	261,191	1,173,012	1,046,941	3,033,476		
受益者負担比率 (16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	530	
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単 位	事業費（千円）
		仮設校舎賃貸借		12	月	153,871
		改築関係工事（建設工事、解体、その他工事）				958,526
		工事監理委託				24,120
		その他（改築承諾料、代替運動措置等）				16,679
(2) 事業実績	<p>平成28年度から始めたプール・体育館・西校舎の解体工事が完了しました。平成29年7月に新校舎建設工事の契約を締結し、同月に近隣住民等に工事説明会を実施した後、新校舎建設工事に着手し、1階躯体工事まで進捗しました。また仮設校舎の完成を受け、既存北校舎と併せた学校運営を行いました。体育の授業については、都立荻窪高校及び松溪中学校を代替運動場として使用するとともに、旧若杉小学校プールを活用した水泳指導を円滑に実施できるよう借上げバスを活用し児童の送迎を行うなど教育環境を確保しました。</p>					
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>計画発表当初は、改築対象となった経緯や仮設校舎の建設及び代替運動場の確保の不安など、計画概要に対する質問を多く受けたところですが、改築検討懇談会における意見交換、懇談会ニュースの発行、説明会の開催などにより、改築事業について関係者に周知を図り、理解を深めてきました。これらの取組により、現在は、新校舎の施設内容や建設工事の進め方などについて、保護者や近隣住民の理解、協力が得られています。</p>				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>保護者からは仮設校舎・新校舎の整備内容を確認する意見、近隣住民からは工事の進め方や住環境に対する配慮を求める意見など、事業の内容、進め方を確認する意見が寄せられるようになりました。</p>				
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>平成31年3月に新校舎が竣工する予定です。 平成31年4月から仮設校舎及び既存北校舎の解体を始めます。平成31年度に実施する校庭・外構等の環境整備工事の完了をもって本改築事業は終了となります。</p>				
評価と課題	<p>既存西校舎解体工事と新校舎建設工事の実施に当たっては、学校の行事予定や近隣住民からの要望を踏まえ、工程・工法の工夫に努めることで、児童の教育環境、近隣住民の生活環境に可能な限りの配慮を行いました。 今後とも、保護者や近隣住民等に対する情報提供や要望対応を適宜適切に行いつつ、平成31年4月の新校舎完成に向けて建設工事を着実に進めていきます。</p>					
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>平成31年度については、既存北校舎解体工事や校庭や外構を整備する環境整備工事等を実施するための所要の予算を編成し、執行していきます。</p>				

平成30年度杉並区事務事業評価表（1）

（00760）

事務事業名称 富士見丘小・中学校の改築			款 07	項 02	目 04	事業 013	整理番号 532			
現担当課名 学校整備課		係名 教育施設計画係			連絡先電話番号 1698	昨年度整理番号				
上位施策No・施策名 27 学校教育環境の整備・充実						予算事業区分 投資事業				
事務事業の概要	事業開始	平成29年度	実行計画事業	目標 05	施策 27	計画事業 01	主要事業（区政経営報告書掲載事業）			
	平成29年度担当課名	学校整備課					事業評価区分	一般		
	対象	富士見丘小・中学校の児童生徒、教職員及び学校利用者		根拠法令等	(1)	学校教育法第5条				
					(2)	自地方自治法第180条の2				
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	総合計画・実行計画に基づき、平成28年度に取得した企業用地を活用して、富士見丘小学校を移転し隣接する富士見丘中学校との一体的整備を図ります。		活動指標	指標名（1）	設計進捗率（平成30～32年度、基本計画含む）				
				指標説明	改築検討懇談会開催回数					
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）			指標説明							
	平成29年度	内部検討	成果指標							
	平成30年度	改築検討	指標名（1）							
	平成31年度	基本計画	指標説明							
	平成32年度	改築検討	指標名（1）							
	平成33年度～	基本設計・実施設計	指標説明							
		実施設計	指標名（2）							
		新校舎建設工事	指標説明							
区分		単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度	
			実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)	
指標	活動指標（1）	1	%			0	0	10	0.0	
	活動指標（2）	2	回			0	0	0	0.0	
	成果指標（1）	3								
	成果指標（2）	4								
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円			3,564	3,564	19,219	平成29年度 予算執行率(%) 100.0	
	(内) 投資的経費等	6	千円			3,564	3,564	19,219	特記事項 この事業は、予算科目（小学校費、中学校費）の関係で、整理番号543と分割して記載しています。 (No.532...小学校費、No.543...中学校費)	
	(内) 委託費	7	千円			3,564	3,564	18,428		
	職員数	常勤職員数	8	人			0.00	1.00		1.20
		再任用職員数	9	人			0.00	0.00		0.00
		非常勤職員数	10	人			0.00	0.00		0.00
	人件費	常勤職員分	11	千円			0	8,591		10,309
		再任用職員分	12	千円			0	0		0
		非常勤職員分	13	千円			0	0		0
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円			3,564	12,155	29,528		
	単位当たりコスト (14÷6)÷1	15	円			0	0	1,030,900		
	財源	受益者負担分	16	千円			0	0		0
		国からの補助金等	17	千円			0	0		0
		都からの補助金等	18	千円			0	0		0
その他の補助金等		19	千円			0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円			0	0	0		
差引：一般財源 (14-20)		21	千円			3,564	12,155	29,528		
受益者負担比率 (16÷14)	22	%			0.0	0.0	0.0			

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

		整理番号 532			
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		富士見丘小・中学校の一体的な整備に係る敷地条件等調査検討業務委託			
	(2) 事業実績	<p>平成28年度に富士見丘小学校の移転用地として取得した企業用地（久我山二丁目用地）を活用した富士見丘小学校・中学校の一体的整備に係る敷地条件等について、民間事業者を活用し調査検討を進めました。</p>			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>小学校の移転用地として取得した企業用地の暫定活用を広報すぎなみに掲載するなど、小学校の移転と中学校との一体的整備に係る学校・地域の方々の理解が徐々に進みつつあります。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>富士見丘小学校・中学校の連携のあり方や、富士見丘中学校と学区の重なる他の小学校との関係等について、幅広く学校・地域関係者の意見を聴いて整備の方向性を決めるべきとの意見が聞かれます。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>都市計画高井戸公園や放射5号線の本格供用開始に向けた整備が進むなど周辺環境が変化中、富士見丘小学校・中学校は一部校舎が築50年程度と老朽化が進むことから、改築に向けた設計や工事を着実に進め、教育環境の向上に取り組む必要があります。</p>			
	評価と課題	<p>富士見丘小学校・中学校の改築にあたっては、平成28年度に取得した企業用地と現中学校用地について、敷地条件や校舎配置、周辺道路整備等の様々な検討が必要です。そのため、民間事業者も活用した調査研究を行い、より良い教育環境の実現に向けた与条件の検討を着実に進めることができました。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>平成30年度は、両校にかかわる保護者や学校関係者、町会・自治会及び商店会関係者、教職員のほか、学識経験者で構成する改築検討懇談会を設置します。また、同懇談会等の意見を踏まえ、平成30年中を目途に、目指す学校像や新校舎配置・平面計画、周辺道路環境の改善などを含めた改築基本計画を策定します。</p>			

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 534

		内 容	規模	単位	事業費（千円）
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	機械警備業務委託	22	校	15,032
		機械設備保守点検業務委託（全館空調校）	4	校	5,600
		昇降機保守点検業務委託	9	校	8,311
		施設保全法定点検業務委託	23	校	0
		その他（設備の保守委託 ほか）			9,743
	(2) 事業実績	引き続き、機械警備や機器の保守点検を実施し、学校の安全安心の確保に努めました。			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）				
	今後の予測				
	評価と課題	学校警備職員の退職による機械警備化が進み、専門事業者への委託が推進されています。引き続き専門事業者による適切な保守管理を実施し、学校施設の安全安心を確保することが重要であると考えます。			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性			
		II 事業の改善の方向性			
	今後の進め方				

平成30年度杉並区事務事業評価表（1）

（00755）

事務事業名称 小中一貫教育校開校準備（高円寺地区）				款 07	項 03	目 01	事業 007	整理番号 537		
現担当課名 学校整備課		係名 教育施設計画係			連絡先電話番号 1687		昨年度整理番号			
上位施策No・施策名 27 学校教育環境の整備・充実						予算事業区分 臨時事業				
事務事業の概要	事業開始	平成29年度	実行計画事業 目標 05 施策 27 計画事業 01			主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
	平成29年度担当課名	学校整備課				事業評価区分 一般				
	対象	杉並第四小学校、杉並第八小学校及び高円寺中学校の児童・生徒、教職員及び学校利用者			根拠法令等 (1) (2)	高円寺地域における新しい学校づくり懇談会運営要綱				
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	杉並第四小学校、杉並第八小学校及び高円寺中学校の3校を統合し設置する施設一体型の小中一貫教育校の開校に向け、学園章等の準備を行う。			活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明	学園章検討部会開催回数 3校のメモリアル検討部会開催回数				
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	平成29年度 学園章案及び学園歌案の制作 平成30年度 学園章及び学園歌の選定並びにメモリアル制作 平成31年度 メモリアル制作及び記念式典開催			成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明	学園章案制作状況 学園歌案制作状況				
区分		単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度	
			実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)	
指標	活動指標(1)	1 回				2	3	1	150.0	
	活動指標(2)	2 回				2	2	3	100.0	
	成果指標(1)	3 案				10	14	1	140.0	
	成果指標(2)	4 曲				1	1	1	100.0	
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円				828	801	610	平成29年度 予算執行率(%) 96.7	
	(内)投資的経費等	6 千円				0	0	0	特記事項 この事業は、予算科目（小学校費、中学校費）の関係で、整理番号521と分割して記載しています。 (No.521...小学校費、No.537...中学校費)	
	(内)委託費	7 千円				378	351	610		
	職員数	常勤職員数	8 人				0.00	0.25		0.25
		再任用職員数	9 人				0.00	0.00		0.00
		非常勤職員数	10 人				0.00	0.00		0.00
	人件費	常勤職員分	11 千円				0	2,148		2,148
		再任用職員分	12 千円				0	0		0
		非常勤職員分	13 千円				0	0		0
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円				828	2,949	2,758		
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15 円				414,000	983,000	2,758,000		
	財源	受益者負担分	16 千円				0	0		0
		国からの補助金等	17 千円				0	0		0
		都からの補助金等	18 千円				0	0		0
その他の補助金等		19 千円				0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円				0	0	0		
差引：一般財源 (14-20)		21 千円				828	2,949	2,758		
受益者負担比率 (16÷14)	22 %				0.0	0.0	0.0			

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

		整理番号		537	
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単 位	事業費(千円)
		学園歌案制作			
		その他(メモリアル作品制作準備)			351
事業環境の変化と方向性	(2) 事業実績	高円寺地域における新しい学校づくり懇談会及び検討部会並びに児童・生徒及び保護者等の意見を聴きながら、学園草案及び学園歌案を制作しました。			
	事業開始当初から現在までの変化	<p>学園章及び学園歌については、平成29年6月26日に学園章検討部会を設置し、保護者、学校関係者や地域関係者の意見を聴きながら、案を作成しました。</p> <p>また、メモリアルについては、平成29年9月29日に3校のメモリアル検討部会を設置し、3校のメモリアル調査結果や過去の統合校の事例を踏まえ、検討を加えました。</p> <p>なお、工事妨害に伴い工期を平成31年2月から同年7月へ延長するとともに、新校の開校時期も平成31年4月から平成32年4月に変更しました。</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>学園章については、杉並第四小学校、杉並第八小学校及び高円寺中学校という3校の伝統や成り立ちを表したものにしてほしい等の意見があり、学園歌については、新校の教育方針に沿った言葉が歌詞に含まれているとよい等の意見がありました。</p> <p>メモリアルについては、3校合同の卒業制作を新校のメモリアルスペースに展示することや高円寺中学校にある樹木を活用してメモリアル作品を制作する等の意見がありました。</p>			
	今後(3~5年)の予測と方向性	<p>学園章、学園歌及びメモリアルが3校の伝統を引き継ぐとともに、新校の象徴として児童・生徒、学校関係者や地域関係者に親しまれます。</p>			
	評価と課題	<p>3校の伝統を引き継ぐとともに新校の象徴として親しまれる学園章、学園歌については、懇談会委員及び、児童・生徒、学校関係者及び地域関係者等の意見を聴きながら、候補を決定しました。また、メモリアルについても引き続き検討を進めていきます。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	平成32年4月の開校に向け、平成29年度に引き続きメモリアル作品の制作等を進めます。			

平成30年度杉並区事務事業評価表（1）

（00513）

事務事業名称		中学校の施設整備			款	07	項	03	目	03	事業	001	整理番号	540	
現担当課名		営繕課			係名			営繕係			連絡先電話番号	1564	昨年度整理番号	527	
上位施策No・施策名										27 学校教育環境の整備・充実			予算事業区分		投資事業
事務事業の概要	事業開始														
	平成29年度担当課名		営繕課			事業評価区分			一般						
	対象		区立中学校の生徒、教職員及び学校施設利用者			根拠法令等		(1)		学校教育法第5条、地方自治法第180条の2					
								(2)		杉並区工事施工規程、学校施設の計画保全に関する処理要領					
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）		中学校の諸施設・設備について適切に維持保全するとともに、教育環境の充実を図っていく。			活動指標		指標名（1）		改修工事実施校数					
							指標説明								
							指標名（2）								
							指標説明								
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）		中学校の校舎屋上防水、校舎外壁、便所び照明設備などの改修を計画的に実施する。			成果指標		指標名（1）		改修工事実施割合						
							指標説明		実施校数÷計画校数						
							指標名（2）								
							指標説明								
区分		単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度						
			実績	計画	実績	計画（目標値）	実績	計画	対計画比（%）						
指標	活動指標（1）	1	件（校）	9	13	13	7	7	7	100.0					
	活動指標（2）	2													
	成果指標（1）	3	%	100	100	100	100	100	100	100.0					
	成果指標（2）	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	189,032	550,121	533,957	296,995	290,859	285,126	平成29年度予算執行率（%）	97.9				
	（内）投資的経費等	6	千円	189,032	550,121	533,957	296,995	290,859	285,126	特記事項					
	（内）委託費	7	千円	189,032	550,121	533,957	296,995	290,859	285,126						
	職員数	常勤職員数	8	人	19.90	20.00	20.70	19.96	19.92	20.78					
		再任用職員数	9	人	1.00	1.00	1.00	1.00	1.05	0.00					
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
	人件費	常勤職員分	11	千円	174,065	174,940	177,233	170,898	171,133	178,521					
		再任用職員分	12	千円	4,139	4,139	4,390	4,390	4,649	0					
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0	0					
	総事業費	14	千円	367,236	729,200	715,580	472,283	466,641	463,647						
	単位当たりコスト	15	円	19,800,444	13,775,308	13,971,000	25,041,143	25,111,714	25,503,000						
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	30,485					
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	15,242					
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計		20	千円	0	0	0	0	0	45,727						
差引：一般財源		21	千円	367,236	729,200	715,580	472,283	466,641	417,920						
受益者負担比率	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

			整理番号	540	
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		泉南中学校校舎外壁補修工事 松ノ木中学校校舎外壁補修工事 荻窪中学校受変電設備取替工事 神明中学校プール改修工事 その他（阿佐ヶ谷中学校昇降機設備改修工事ほか）			
(2) 事業実績	学校における良好な教育環境の維持・向上を図るため、校舎外壁補修工事、受変電設備取替工事、プール改修工事、昇降機設備改修工事など、学校諸施設の整備工事を行いました。今後も、施設の劣化状況や耐用年数を考慮しながら、計画的かつ効果的・効率的な改修を実施します。				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	学校建物の老朽化が進む中、改築を計画的に行っていく必要がありますが、期間と経費がかかることから、教育環境の維持保全を行う改修工事の重要性は大きくなっています。			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	学校利用者からは、校舎の傷みや内装の汚れが目立つ等の指摘を受けています。また、使い勝手などの施設面においては、便所改修や校庭整地、バリアフリー化等を求められています。近隣住民からは、学校周囲の狭い道路の整備、校庭の土埃対策とともに、各工事における安全性や騒音・振動対策等が求められています。			
	今後（3～5年）の予測と方向性	今後、建物の耐用年数を経過する校舎の増加が見込まれます。施設の機能や教育環境の維持・向上を図るためには、計画的かつ効果的・効率的な改修を行っていくとともに、中長期を見据えた学校教育施設の改修・改善に取り組む必要があります。			
評価と課題	施設機能の維持保全や教育システムの変化等に対応するため、中長期を見据えた学校教育施設の改修・改良に取り組み、良好な教育環境の維持・向上に努めました。今後においても、教育的なニーズの変化に対応した改修・改良工事に取り組んでいきます。				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	施設・設備は経年劣化していくため、機能や教育環境の維持・向上を図るには、計画的に改修を行う必要があります。また、施設の劣化状況や耐用年数を考慮しながら効率的な改修を行う必要があります。今後も、新しい学校づくりの検討状況及び杉並区立小中学校老朽化改築計画との調整を図りながら、改修計画を構築する必要があります。			

平成30年度杉並区事務事業評価表(1)

(00668)

事務事業名称		中学校空調設備整備			款	07	項	03	目	03	事業	005	整理番号	541	
現担当課名		学校整備課		係名	教育施設整備係			連絡先電話番号	1682		昨年度整理番号	528			
上位施策No・施策名										27 学校教育環境の整備・充実		予算事業区分	投資事業		
事務事業の概要	事業開始	平成22年度													
	平成29年度担当課名	学校整備課										事業評価区分	一般		
	対象	区立中学校の生徒及び施設設備			根拠法令等	(1)		学校教育法第5条							
						(2)		地方自治法第180条の2							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	教育環境改善のために教室に空調設備を整備する。			活動指標	指標名(1)		空調設備設置工事校数							
					指標説明		空調設備整備設計校数								
					指標名(2)		空調設備整備設計校数								
					指標説明										
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	区立中学校の教室に空調設備を整備する。			成果指標	指標名(1)		空調設備設置率(%)								
					指標説明		空調設備設置中学校数 ÷ 中学校数 H26・27理科室、H28・29・30家庭科室								
					指標名(2)										
					指標説明										
区分		単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1 校	18	9	9	1	2	5	200.0						
	活動指標(2)	2 校	9	8	8	5	5	16	100.0						
	成果指標(1)	3 %	36	54	54	56	58	66	103.6						
	成果指標(2)	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	92,791	63,644	56,808	16,513	15,711	36,000	平成29年度予算執行率(%)	95.1					
	(内)投資的経費等	6 千円	92,791	63,644	56,808	16,513	15,711	36,000	特記事項						
	(内)委託費	7 千円	92,791	63,644	56,808	16,513	15,711	36,000							
	職員数	常勤職員数	8 人	0.12	0.07	0.08	0.05	0.11	0.20						
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
	人件費	常勤職員分	11 千円	1,050	612	685	428	945	1,718						
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0	0						
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	93,841	64,256	57,493	16,941	16,656	37,718							
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15 円	58,333	68,000	76,111	428,000	472,500	343,600							
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	2,000	2,575	12,000						
		都からの補助金等	18 千円	13,826	0	12,703	1,000	3,634	6,000						
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	13,826	0	12,703	3,000	6,209	18,000							
差引:一般財源(14-20)		21 千円	80,015	64,256	44,790	13,941	10,447	19,718							
受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	541
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		中学校家庭科室空調設備整備工事	2	校	15,711
		その他（ ）			
	(2) 事業実績	松溪中学校及び西宮中学校2校の家庭科室4室に空調設備を整備しました。			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	教育環境を改善し、生徒が学習効果を十分発揮できるように、平成22・23年度に普通教室に空調設備を設置しました。更に学習環境を改善し理科教育を充実させるため、平成26年度には理科室空調設備の設計を行いました。			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	保護者やPTA協議会などからは、学習環境改善のため、早急に空調設備整備を実施して欲しいとの要望が出されています。			
	今後（3～5年）の予測と方向性	家庭科室への設置完了後は、美術室や技術室などにも、教育環境改善のための空調設備整備が求められると予測されます。			
	評価と課題	普通教室と一部の特別教室に空調設備を設置し、学習環境の改善が図られました。平成30年度は、空調設備未設置の家庭科室等への整備を進めていきます。今後は、それ以外の未設置の教室などへの設置が課題となります。また、将来的には、空調機の改修時期（入れ替え時期）が、同時期に発生することが想定され、その対策が求められます。			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	対象の見直し		
		「杉並区教育ビジョン2012」推進計画及びPTA協議会の要望に基づき、教育環境の均等化を図るため、空調設備未設置の武術室・技術室に空調設備を設置します。			

平成30年度杉並区事務事業評価表（1）

（00669）

事務事業名称 小中一貫校の施設整備（高円寺地区）			款 07	項 03	目 03	事業 007	整理番号 542					
現担当課名 学校整備課		係名 教育施設計画係		連絡先電話番号 1684		昨年度整理番号 529						
上位施策No・施策名 27 学校教育環境の整備・充実						予算事業区分 投資事業						
事務事業の概要	事業開始	平成26年度	実行計画事業 目標 05 施策 27 計画事業 01			主要事業（区政経営報告書掲載事業）						
	平成29年度担当課名	学校整備課				事業評価区分 一般						
	対象	杉並第四小学校、杉並第八小学校及び高円寺中学校の児童・生徒、教職員及び学校利用者		根拠法令等 (1) (2)	地方自治法第180条の2 学校施設環境改善交付金交付要綱第3							
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	「高円寺地域における新しい学校づくり計画」に基づき、杉並第四小学校、杉並第八小学校及び高円寺中学校の3校を統合し、現高円寺中学校の校地を活用した施設一体型の小中一貫教育校を設置する。		活動指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2） 指標説明	建設工事進捗率（平成29～31年度） 設計進捗率（平成27～28年度） （基本設計30%、実施設計70%）							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	平成25年度～開校 新しい学校づくり懇談会開催 平成27年度 基本設計 平成27年度～28年度 実施設計 平成28年度末～31年度 新校舎建設工事 平成32年4月 新校開校 平成32年度 環境整備工事		成果指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2） 指標説明								
区分		単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度	平成29年度 予算執行率(%) 95.7 特記事項 この事業は、予算科目（小学校費、中学校費）の関係で、整理番号528と分割して記載しています。（No.528...小学校費、No.542...中学校費）		
			実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)			
指標	活動指標（1）	1	%	0	0	0	30	29	60		96.7	
	活動指標（2）	2	%	30	70	70	0	0	0		0.0	
	成果指標（1）	3										
	成果指標（2）	4										
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	40,086	356,330	349,778	457,630	438,069	1,146,607			
	（内）投資的経費等	6	千円	40,086	356,330	349,778	457,630	438,069	1,146,607			
	（内）委託費	7	千円	40,086	355,733	349,453	453,451	433,989	1,144,796			
	職員数	常勤職員数	8	人	1.50	2.00	2.47	2.50	1.59		1.75	
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
	人件費	常勤職員分	11	千円	13,121	17,494	21,148	21,405	13,660		15,034	
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0		0	
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0		0	
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円	53,207	373,824	370,926	479,035	451,729	1,161,641			
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15	円	0	0	0	713,500	471,034	250,567			
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0		0	
		国からの補助金等	17	千円	0	0	10,280	0	59,215		158,036	
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0		0	
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0			
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円	0	0	10,280	0	59,215	158,036			
差引：一般財源 (14-20)		21	千円	53,207	373,824	360,646	479,035	392,514	1,003,605			
受益者負担比率 (16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

		整理番号		542	
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単 位	事業費（千円）
		建設工事			
		事前整備工事			2,881
		代替運動場措置			40
		その他（事務費等）			4,080
(2) 事業実績	平成29年度は、建設工事を進めるとともに、事前整備工事を行いました。				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成26年3月に高円寺地域における新しい学校づくり懇談会を設置し、保護者や学校関係者、地域関係者の意見を伺いながら教育方針や校名、通学路の安全対策など具体的な検討を進めてきました。また、開校に向けた取組や懇談会での意見等について教育委員会ホームページに掲載するとともに近隣住民や近隣の幼稚園、保育施設にニュース誌を配布して周知を図りました。平成28年に東京都中高層建築物紛争の予防と調整に関する条例に基づく説明会及び工事説明会を開催したところ、校舎の配置等について一部近隣住民から要望があり、設計変更を実施しました。また、抗議活動等に伴い工期を平成31年2月から同年7月へ延長するとともに、新校の開校時期も平成31年4月から平成32年4月に変更しました。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>施設一体型により小中一貫教育の効果を高め、児童・生徒が共に通う学校として配慮すべき点を明確にしなが、規模の適切さも含めて検討を進めることを求める意見や、地域の力を生かせる多世代が交わる学校、安全性の高い地域防災の拠点となる学校にしてほしいなどの要望がありました。また、周辺住民等から杉並第四小学校との小中学校分離型に計画を見直すべきとの要望がありましたが、現計画に至る経過、学校での取組などを説明してきました。開校時期の変更については、変更により生まれた時間を有効に活用し、児童・生徒の相互交流を行うなど開校に向けて万全を期すように等の意見がありました。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>平成32年4月の開校に向け、杉並第四小学校、杉並第八小学校及び高円寺中学校の児童・生徒の交流活動が盛んになるとともに、学校関係者や地域住民との緊密な連携及び交流が図られています。</p>			
評価と課題	<p>今後は、平成32年4月の開校に向け建設工事の進捗管理を行うとともに、体育やクラブ活動等に係る代替運動場の活用など、工事期間中の高円寺中学校の学校運営に支障が生じないよう努めて計画を進めていきます。また、高円寺地域における新しい学校づくり懇談会を通して、保護者や学校関係者、地域住民等から意見を聴き、（仮称）高円寺学園の学園章及び学園歌の候補を決定するとともに、杉並第四小学校、杉並第八小学校及び高円寺中学校のメモリアル等について引き続き、検討を進めていきます。</p>				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
翌年度予算の方向性の理由・内容	区議会の議決を経た予算及び債務負担行為に基づき、適切に建設工事を実施していきます。				

平成30年度杉並区事務事業評価表（1）

（00756）

事務事業名称 富士見丘小・中学校の改築			款 07	項 03	目 03	事業 008	整理番号 543		
現担当課名 学校整備課		係名 教育施設計画係			連絡先電話番号 1698	昨年度整理番号			
上位施策No・施策名 27 学校教育環境の整備・充実						予算事業区分 投資事業			
事務事業の概要	事業開始	平成29年度	実行計画事業 目標 05 施策 27 計画事業 01			主要事業（区政経営報告書掲載事業）			
	平成29年度担当課名	学校整備課				事業評価区分 一般			
	対象	富士見丘小・中学校の児童生徒、教職員及び学校利用者		根拠法令等 (1) (2)	学校教育法第5条				
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	総合計画・実行計画に基づき、平成28年度に取得した企業用地を活用して、富士見丘小学校を移転し隣接する富士見丘中学校との一体的整備を図ります。		活動指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2）	設計進捗率（平成30～32年度、基本計画含む） 改築検討懇談会開催回数				
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	平成29年度 内部検討 平成30年度 改築検討 懇談会設置・運営 平成31年度 改築検討 懇談会運営 平成32年度 基本設計・実施設計 平成33年度～ 実施設計 新校舎建設工事		指標説明 成果指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2） 指標説明					
区分		単位	平成27年度 実績	平成28年度 計画 実績		平成29年度 計画 (目標値) 実績	平成30年度 計画	平成29年度 対計画比(%)	
指標	活動指標（1）	1 %				0 0	10	0.0	
	活動指標（2）	2 回				0 0	0	0.0	
	成果指標（1）	3							
	成果指標（2）	4							
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円				21,276 20,553	19,219	平成29年度 予算執行率(%) 96.6	
	（内）投資的経費等	6 千円				21,276 20,553	19,219	特記事項 この事業は、予算科目（小学校費、中学校費）の関係で、整理番号532と分割して記載しています。 (No.532...小学校費、No.543...中学校費)	
	（内）委託費	7 千円				21,108 20,386	18,428		
	職員数	常勤職員数	8 人				0.00 1.00		1.20
		再任用職員数	9 人				0.00 0.00		0.00
		非常勤職員数	10 人				0.00 0.00		0.00
	人件費	常勤職員分	11 千円				0 8,591		10,309
		再任用職員分	12 千円				0 0		0
		非常勤職員分	13 千円				0 0		0
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円				21,276 29,144	29,528		
	単位当たりコスト (14÷6)÷1)	15 円				0 0	1,030,900		
	財源	受益者負担分	16 千円				0 0		0
		国からの補助金等	17 千円				0 0		0
		都からの補助金等	18 千円				0 0		0
その他の補助金等		19 千円				0 0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円				0 0	0		
差引：一般財源 (14-20)		21 千円				21,276 29,144	29,528		
受益者負担比率 (16÷14)	22 %				0.0 0.0	0.0			

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

		整理番号		543	
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単 位	事業費（千円）
		富士見丘中学校第二校庭整備工事			
		その他（雨水流出防止土嚢設置ほか）			667
平成29年度の事業実施状況	(2) 事業実績	<p>小学校移転用地として取得した久我山二丁目用地は、学校整備工事着手までに3年程度を要することから、狭小な富士見丘中学校の校庭を補完する第二校庭として整備を図ることで、当面の用地の有効活用と中学校の教育環境の向上を図りました。</p>			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>小学校の移転用地として取得した企業用地を学校開放として暫定活用することを広報すぎなみに掲載するなど、小学校の移転と中学校との一体的整備に係る学校・地域の方々の理解が徐々に進みつつあります。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>富士見丘小学校・中学校の連携のあり方や、富士見丘中学校と学区の重なる他の小学校との関係等について、幅広く学校・地域関係者の意見を聴いて整備の方向性を決めるべきとの意見が聞かれます。また、第二校庭を学校開放の対象としたことについて、利用団体から申し込みが数多く寄せられ好評を得ています。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>都市計画高井戸公園や放射5号線の本格供用開始に向けた整備が進むなど周辺環境が変化中、富士見丘小学校・中学校は一部校舎が築50年程度と老朽化が進むことから、改築に向けた設計や工事を着実に進め、教育環境の向上に取り組む必要があります。</p>			
	評価と課題	<p>建設工事開始までに数年を要することから、学校・地域のニーズを踏まえた企業用地の活用方法を検討し、速やかに暫定活用の実現を図ることができました。併せて、小学校移転用地としての周知を図ることで、小・中学校の一体的整備について理解を広げることができました。今後は、富士見丘小学校・中学校の改築に向けて、改築検討懇談会において出される学校・地域関係者の方々の意見を踏まえ、校舎配置等の改築計画の具体化に取り組んでいきます。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>平成30年度は、両校にかかわる保護者や学校関係者、町会・自治会及び商店会関係者、教職員のほか、学識経験者で構成する改築検討懇談会を設置します。また、同懇談会等の意見を踏まえ、平成30年中を目途に、目指す学校像や新校舎配置・平面計画、周辺道路環境の改善などを含めた改築基本計画を策定します。</p>			